



連携、協調そして有言実行

群馬県中学校長会長 **金井 修一郎**

今日の学校教育においては、小学校中学年から英語指導、道徳の教科化、学習指導要領の改訂などが間近に迫り、大きな変革の時期となっていており課題が山積しております。今年度は地方公務員法改正に伴う新しい人事評価の試行が始まりました。

今年度は、4つの基本方針、7つの活動の重点に基づいて活動の充実を図り、上述の課題に速やかに対応していきたいと思っております。とくに現在、学校教育に強く求められている学力向上、いじめ防止等の課題には、全体研究協議、ブロック別研究協議のほか、郡市での研究協議を推進し、専門部活動も含めて、取り組んでいきましょう。関係諸機関との連携では、懸案となっている「部活動の申し合わせ事項」について、県中学校長会としての意見をまとめ、県中体連と検討・協議を進めたいと思っております。また、少子化に伴う学校の統廃合が進んでおり、それに伴う対応も課題の一つです。先の総会でもそれに対応するための会則改正を行いました。

平成29年度に本会は70周年を迎えます。それ

に伴い記念誌の発行、記念行事の開催等を行う予定です。今年度は記念誌の発行に向け、編集部の組織を拡充し準備を進めていきます。平成31年10月24日・25日には、前橋市を会場として全日本中学校長会研究協議会群馬大会が行われます。全日本本部との連絡調整を図りながら、群馬大会に向けての大会組織等の骨格について検討し、準備を進めていきたいと思っております。

私は、自らの職務に取り組むに当たって、『有言実行』を座右の銘としています。すべてがそのようには行くわけではありませんが、姿勢として持ち続けることが大事だと考え心がけています。県中学校長会では、ここ数年、県教委、県高等学校長協会等との連携を深め協調しあう中で、提言、要望を伝えるとともに、自らの責任を果たしてきています。正に有言実行です。今年度も、この姿勢で様々な課題の解決に取り組んでいきましょう。どうぞよろしく願いいたします。